



セキュリティソフト

PASS(Password Authentication Security System) × AES

ユーザーズマニュアル

■本マニュアルの内容

表面	Windows で PASS × AES を使用する PASS × AES を使用する前に PASS × AES を使用してデータを保護する PASS × AES の設定を変更する
裏面	Macintosh で PASS × AES を使用する PASS × AES を使用する前に PASS × AES を使用してデータを保護する PASS × AES の設定を変更する 動作環境とユーザーサポート ユーザーサポートについて

■はじめに

本ユーザーズマニュアルは、USB フラッシュメモリで使用するセキュリティソフト「PASS(Password Authentication Security System) × AES」を利用して、データを保護する方法について説明しています。ご使用になる前によくお読みください。

■ご使用にあたって

- セキュリティソフト「PASS × AES」について、消去、破損について当社は一切の保証をいたしません。誤って削除するとセキュリティソフト「PASS × AES」が使用できなくなりますので、注意してください。
- 大切なデータは万一の場合にそなえ、他の記憶媒体などに、定期的にバックアップされることをお勧めします。
- パソコンの電源が入った状態で、USB フラッシュメモリをパソコンから取り外す際には、セキュリティフォルダを隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
「セキュリティフォルダを隠す」を参照してください。
無理に取り外すと、ファイルが消失したり、故障の原因になります。
- 消失・破損したデータに関しては、当社は一切の責任を負い兼ねます。
- 暗号化機能を使用する場合、実質使用可能容量は表示容量の約半分になります。
暗号化 / 復号化の際にはデータとは別に、同じ容量の作業領域を USB メモリ内に確保する必要があります。
保存するデータが 1GB の場合、1GB(データ) + 1GB(作業領域) = 2GB の空き容量が必要です。

セキュリティソフト「PASS × AES」を使用する場合は、他(当社 / 当社以外全社)の USB フラッシュメモリと同時に使用しないでください。PASS × AES または他の USB フラッシュメモリのソフトが誤動作を起こす可能性があります。

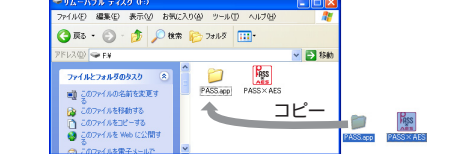
Windows で PASS × AES を使用する

PASS × AES を使用する前に

PASS × AES は、「PASS × AES」プログラムを USB フラッシュメモリ内にコピーして使用します。次の方法で、「PASS × AES」プログラムをお使いの USB フラッシュメモリ内にコピーしてください。

- 1 ホームページから USB フラッシュメモリ用セキュリティソフト「PASS × AES」をパソコンのデスクトップ上にダウンロードします。
- 2 ダウンロードしたファイルを解凍してください。「PASS × AES(.exe)」と「PASS × AES.app フォルダ」、「readme.txt」の 3 個のファイルが現れます。
- 3 お使いの USB フラッシュメモリを認識しているリムーバブルディスクをダブルクリックし、このフォルダ内に「PASS × AES(.exe)」と「PASS × AES.app フォルダ」をコピーします。

「PASS × AES.app」は Macintosh で使用するプログラムです。



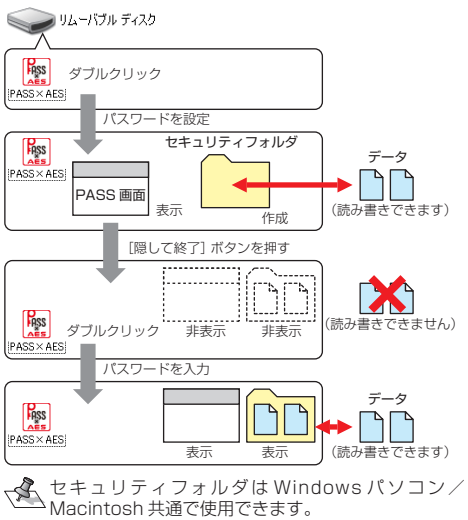
「PASS」をご使用の場合
「PASS(.exe)」と「PASS.app」を一旦削除してから、「PASS × AES(.exe)」と「PASS × AES.app フォルダ」をコピーしてください。パスワード、パスワードレスの設定は引き継がれます。

必ず USB フラッシュメモリ内にコピーした「PASS × AES(.exe)」を実行してください。パソコンのデスクトップやフォルダからは実行できません。



PASS × AES を使用してデータを保護する

PASS × AES を使用して USB フラッシュメモリ内にセキュリティフォルダを作成します。そのフォルダにデータを保存し、隠す(非表示にする)ことで、データを保護することができます。



セキュリティフォルダは Windows パソコン / Macintosh 共通で使用できます。

正しいパスワードを入れることができないことによる、データの強制消去、内容確認が不可能になる事態、その他に対して、当社は一切の責任を負いません。また、一切の保証をいたしません。

セキュリティフォルダを作成する

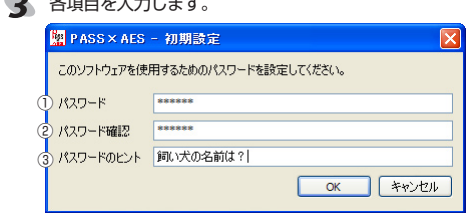
PASS × AES をはじめて起動したときは、USB フラッシュメモリ内にセキュリティフォルダを作成します。

作成したセキュリティフォルダを削除した場合も、次の手順で作成し直してください。

「コンピュータ(Windows 7 では「コンピューター」)」または「マイコンピュータ」から USB フラッシュメモリをダブルクリックします。
例えば、パソコンの最後のドライブが E の場合、「リムーバブル ディスク(F:)」と表示されます。

USB フラッシュメモリ内の「PASS × AES(.exe)」をダブルクリックします。
初期設定画面が表示されます。

- 1 はじめて起動したときは、「使用許諾書」の画面が表示されます。内容をよくお読みになり許諾をいただいた上で「同意する」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。
- 2 各項目を入力します。



- 1 パスワード
任意のパスワードを半角英数字 63 文字以内で入力します。
- 2 パスワード確認
①で入力したパスワードを再度入力します。
- 3 パスワードのヒント
パスワードを忘れたときに、思い出す手がかりになるようなヒントを入力します。入力なくてもかまいません。設定すると、認証画面の「ヒント...」ボタンをクリックして、設定したパスワードのヒントを表示できます。

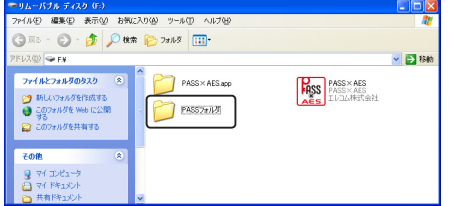
解除される恐れがあるような、簡単なパスワードや分かりやすいヒントを設定しないように注意してください。

「OK」ボタンをクリックします。
USB フラッシュメモリ内にセキュリティフォルダ「PASS フォルダ」が作成されます。
また、PASS × AES 画面が表示されます。

セキュリティフォルダは Windows パソコン / Macintosh 共通で使用できます。

■セキュリティフォルダ

このセキュリティフォルダに保存したデータを保護することができます。



- フォルダ名は変更できます。
- ご使用環境により、本製品内に「ごみ箱」が表示されますが、PASS × AES の仕様です。異常ではありません。

■セキュリティフォルダ内のデータの暗号化

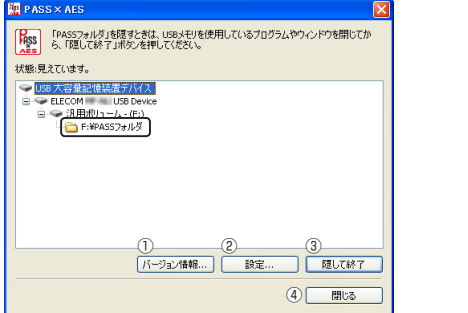
セキュリティフォルダに保存されたデータは暗号化して保存されます。データそのものを暗号化していますので、USB フラッシュメモリを分解して直接データを取り出そうとしても、そのままでは内容を閲覧することはできません。暗号化方式には、米政府標準で日本政府も推奨している信頼性の高い「AES 方式(256bit)」を採用しています。



暗号化されるのはセキュリティフォルダに保存したデータのみです。

■PASS × AES 画面

このPASS × AES 画面からセキュリティフォルダを隠したり、PASS × AES の設定を変更したりすることができます。



- 1 「バージョン情報」ボタン
クリックすると、バージョン情報が表示されます。
- 2 「設定」ボタン
「PASS × AES の設定を変更する」を参照してください。

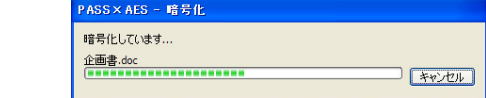
- 3 「隠して終了」ボタン
「セキュリティフォルダを隠す」を参照してください。
- 4 「閉じる」ボタン
クリックすると、PASS × AES 画面を閉じます。ただし、セキュリティフォルダは読み書きできる状態です。

セキュリティフォルダを隠す

セキュリティフォルダを隠して(非表示にして)、USB フラッシュメモリ内から見えなくします。セキュリティフォルダのデータが読み書きできなくなります。

パソコンの電源が入った状態で、USB フラッシュメモリをパソコンから取り外す際には、セキュリティフォルダを隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
その後、タスクトレイまたは通知領域上で「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。無理に取り外しますと、ファイルが消失したり、故障の原因になります。

- 1 USB フラッシュメモリ内から起動しているプログラムやウィンドウを閉じます。
- 2 PASS × AES 画面で「隠して終了」ボタンをクリックします。
- 3 セキュリティフォルダ内のデータを暗号化して、セキュリティフォルダを見えなくします。



セキュリティフォルダを表示しているときに、PASS × AES 画面が表示されていない場合は、USB フラッシュメモリ内の「PASS × AES(.exe)」をダブルクリックするか、タスクトレイまたは通知領域の「AES」アイコンをクリックすると、PASS × AES 画面が表示されます。
※ Windows® 7 で通知領域に「AES」が表示されている場合は、「AES」をクリックして「AES」アイコンします。

暗号化機能を使用する場合、実質使用可能容量は表示容量の約半分になります。
暗号化 / 復号化の際にはデータとは別に、同じ容量の作業領域を USB メモリ内に確保する必要があります。
保存するデータが 1GB の場合、1GB(データ) + 1GB(作業領域) = 2GB の空き容量が必要です。

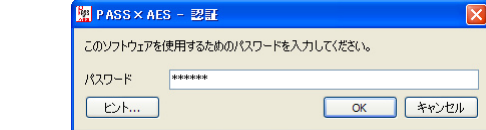
セキュリティフォルダおよびPASS × AES 画面を表示する

セキュリティフォルダを表示してデータを読み書きする場合や、PASS × AES 画面を表示して PASS × AES の設定を変更する場合は、次の手順で PASS × AES を起動します。

1 USB フラッシュメモリ内の「PASS × AES(.exe)」をダブルクリックします。
認証画面が表示されます。

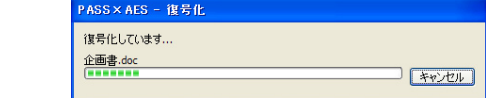
2 パスワードレスとして登録しているパソコンに接続している場合は、パスワードを設定していても認証画面は表示されず、PASS × AES が起動します。「パスワードを入力せずに PASS × AES を起動する」を参照してください。

「パスワード」を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



「ヒント...」ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

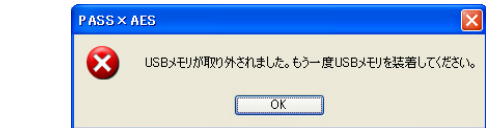
セキュリティフォルダ内の暗号化されたデータを復号化します。USB フラッシュメモリ内にセキュリティフォルダが表示されます。



また、PASS × AES 画面が表示されます。

PASS × AES を起動したときに、PASS × AES 画面が表示されないように設定することもできます。「PASS × AES 起動時に PASS × AES 画面を表示しない」を参照してください。

USB フラッシュメモリを取り外すときは、セキュリティフォルダを隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。



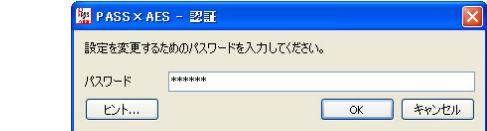
PASS × AES の設定を変更する

PASS × AES の設定を変更するときは、次の手順で設定画面を表示し、各設定を変更します。

1 PASS × AES 画面の「設定」ボタンをクリックします。
認証画面が表示されます。

2 PASS × AES 画面が表示されていない場合は、「セキュリティフォルダおよび PASS × AES 画面を表示する」を参照してください。

「パスワード」を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



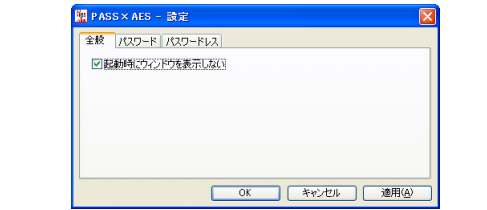
「ヒント...」ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

設定画面が表示されます。
各設定の詳細は、以降を参照してください。

PASS × AES 起動時に PASS × AES 画面を表示しない

PASS × AES を起動したときに、PASS × AES 画面を表示しないように設定できます。

1 設定画面を表示し、「全般」タブで「起動時にウィンドウを表示しない」にチェックを入れます。

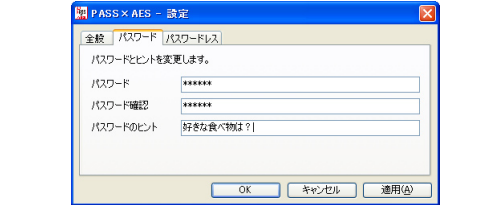


2 設定画面の「OK」ボタンまたは「適用」ボタンをクリックします。

パスワードを変更する

現在設定しているパスワードとヒントを変更できます。

1 設定画面を表示し、「パスワード」タブをクリックします。

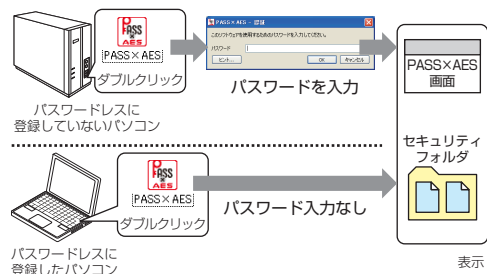


2 各項目を入力します。
詳細は、「セキュリティフォルダを作成する」の手順 3 を参照してください。

3 設定画面の「OK」ボタンまたは「適用」ボタンをクリックします。

パスワードを入力せずに PASS × AES を起動する

いつもご使用になっているご自分のパソコンなどをパスワードレスパソコンとしてあらかじめ登録しておく、パスワードを入力しなくても PASS × AES を起動できます。他のパソコンではデータを盗み見されないように保護し、ご自分のパソコンではすぐに読み書きしますので、頻繁にデータをやり取りする場合などに便利です。



登録したパソコンにお使いの USB フラッシュメモリを接続した場合にのみ、「PASS × AES(.exe)」をダブルクリックするだけで、すぐに PASS × AES 画面とセキュリティフォルダが表示できます。

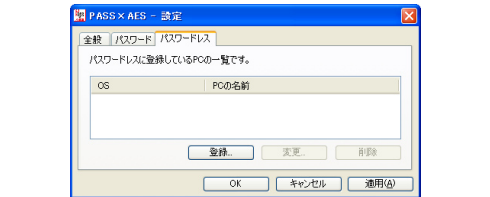
■パスワードレスパソコンを登録する

Windows パソコンと Macintosh を合わせて 3 台まで登録できます。

1 登録するパソコンにお使いの USB フラッシュメモリを接続します。

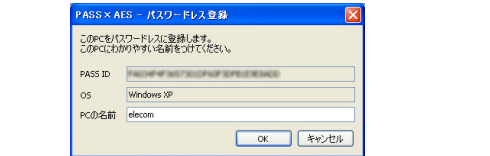
2 お使いの USB フラッシュメモリを接続したパソコンのみ登録することができます。必ず登録するパソコンに PASS × AES をコピーした USB フラッシュメモリを接続し、以降の操作を行ってください。

2 設定画面を表示し、設定画面の「パスワードレス」タブをクリックします。



3 「登録」ボタンをクリックします。
パスワードレス登録画面が表示されます。

4 「PC の名前」を入力し、「OK」ボタンをクリックします。
Windows の情報が自動的に入力されますが、任意の名前に変更できます。

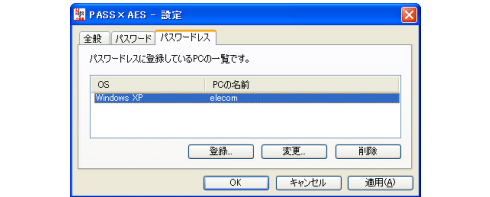


5 設定画面の「OK」ボタンまたは「適用」ボタンをクリックします。

■登録したパスワードレスパソコンの名前を変更する

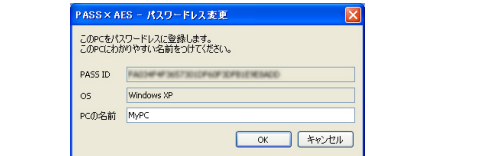
登録したパスワードレスパソコン以外のパソコンからでも変更できます。

1 設定画面を表示し、「パスワードレス」タブで変更するパスワードレスパソコンの「PC の名前」を選択します。



2 「変更」ボタンをクリックします。
パスワードレス変更画面が表示されます。

3 「PC の名前」を変更し、「OK」ボタンをクリックします。

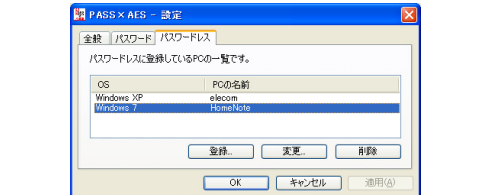


4 設定画面の「OK」ボタンまたは「適用」ボタンをクリックします。

■登録したパスワードレスパソコンを削除する

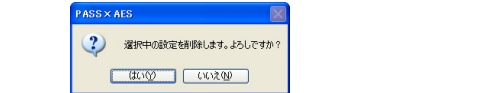
登録したパスワードレスパソコン以外のパソコンからでも削除できます。

1 設定画面を表示し、「パスワードレス」タブで削除するパスワードレスパソコンの「PC の名前」を選択します。



2 「削除」ボタンをクリックします。
確認画面が表示されます。

3 「はい」ボタンをクリックします。



4 設定画面の「OK」ボタンまたは「適用」ボタンをクリックします。

MacintoshでPASS×AESを使用する

PASS×AESを使用する前に

PASS×AESは、「PASS×AES」プログラムをUSBフラッシュメモリ内にコピーして使用します。次の方法で、「PASS×AES」プログラムをお使いのUSBフラッシュメモリ内にコピーしてください。

- 1 ホームページからUSBフラッシュメモリ用セキュリティソフト「PASS×AES」をパソコンのデスクトップ上にダウンロードします。
- 2 ダウンロードしたファイルを解凍してください。「PASS×AES」と「PASS×AES.exe」、「readme.txt」の3個のファイルが現れます。
- 3 お使いのUSBフラッシュメモリを認識しているリムーバブルディスクをダブルクリックし、このフォルダ内に「PASS×AES」と「PASS×AES.exe」をコピーします。

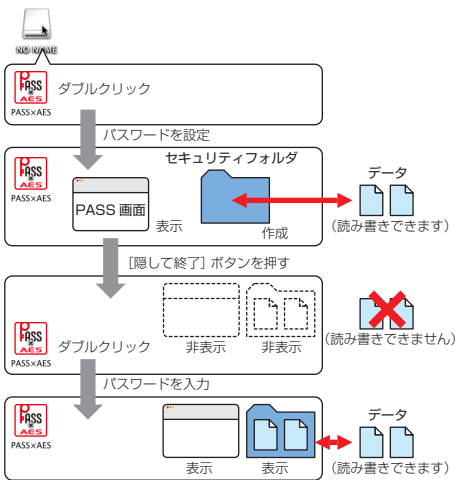
「PASS×AES.exe」はWindowsで使用するプログラムです。



「PASS」をご使用の場合
「PASS」と「PASS.exe」を一旦削除してから、「PASS×AES」と「PASS×AES.exe」をコピーしてください。パスワード、パスワードレスの設定は引き継がれます。

PASS×AESを使用してデータを保護する

PASS×AESを使用して本製品内にセキュリティフォルダを作成します。そのフォルダにデータを保存し、隠す(非表示にする)ことで、データを保護することができます。



セキュリティフォルダはMacintosh／Windowsパソコン共通で使用できます。

正しいパスワードを入れることができないことによる、データの強制消去、内容確認が不可能になる事態、その他に対して、当社は一切の責任を負いません。また、一切の保証をいたしません。

セキュリティフォルダを作成する

PASS×AESをはじめて起動したときは、本製品内にセキュリティフォルダを作成します。

作成したセキュリティフォルダを削除した場合も、次の手順で作成し直してください。

1 デスクトップにマウントされたUSBフラッシュメモリをダブルクリックします。

2 USBフラッシュメモリ内の「PASS×AES×AES」をダブルクリックします。初期設定画面が表示されます。

はじめて起動したときは、「使用許諾書」の画面が表示されます。内容をよくお読みになり許諾をいただいた上で「同意する」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

3 各項目を入力します。



- 1 パスワード
任意のパスワードを半角英数字 63 文字以内で入力します。
- 2 パスワード確認
①で入力したパスワードを再度入力します。
- 3 パスワードのヒント
パスワードを忘れたときに、思い出す手がかりになるようなヒントを入力します。入力しなくてもかまいません。設定すると、認証画面の[ヒント]ボタンをクリックして、設定したパスワードのヒントを表示できます。



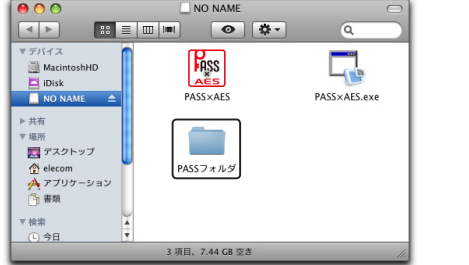
解除される恐れがあるような、簡単なパスワードや分かりやすいヒントを設定しないように注意してください。

4 [OK]ボタンをクリックします。USBフラッシュメモリ内にセキュリティフォルダ「PASS×AES フォルダ」が作成されます。また、PASS×AES画面が表示されます。

セキュリティフォルダはMacintosh／Windowsパソコン共通で使用できます。

■セキュリティフォルダ

このセキュリティフォルダに保存したデータを保護することができます。



フォルダ名は変更できます。

■セキュリティフォルダ内のデータの暗号化

セキュリティフォルダに保存されたデータは暗号化して保存されます。データそのものを暗号化していますので、USBフラッシュメモリを分解して直接データを取り出そうとしても、そのままでは内容を閲覧することはできません。暗号化方式には、米国政府標準で日本政府も推奨している信頼性の高い「AES方式(256bit)」を採用しています。



暗号化されるのはセキュリティフォルダに保存したデータのみです。

■PASS×AES画面

このPASS×AES画面からセキュリティフォルダを隠したり、PASS×AESの設定を変更したりすることができます。



- 1 [バージョン情報]ボタン
クリックすると、バージョン情報が表示されます。
- 2 [設定]ボタン
「PASS×AESの設定を変更する」を参照してください。
- 3 [隠して終了]ボタン
「セキュリティフォルダを隠す」を参照してください。

4 [閉じる]ボタン
クリックすると、PASS×AES画面を閉じます。ただし、セキュリティフォルダは読み書きできる状態です。

セキュリティフォルダを隠す

セキュリティフォルダを隠して(非表示にして)、本製品内から見えなくします。セキュリティフォルダのデータが読み書きできなくなります。

パソコンの電源が入った状態で、USBフラッシュメモリをパソコンから取り外す際には、セキュリティフォルダを隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。その後、ドライブアイコンをゴミ箱にドラッグして、デスクトップからUSBフラッシュメモリのドライブアイコンが消えたことを確認して、本製品を取り外してください。無理に取り外しますと、ファイルが消失したり、故障の原因になります。

- 1 USBフラッシュメモリ内から起動しているプログラムやウィンドウを閉じます。
- 2 PASS×AES画面で「隠して終了」ボタンをクリックします。
- 3 セキュリティフォルダ内のデータを暗号化して、セキュリティフォルダを見えなくします。



セキュリティフォルダを表示しているときに、PASS×AES画面が表示されていない場合は、USBフラッシュメモリ内の「PASS×AES」をダブルクリックするか、Dockの「PASS×AES」アイコンをクリックすると、PASS×AES画面が表示されます。

暗号化機能を使用する場合、実質使用可能容量は表示容量の約半分になります。暗号化/復号化の際にはデータとは別に、同じ容量の作業領域をUSBメモリ内に確保する必要があります。保存するデータが1GBの場合、1GB(データ)+1GB(作業領域)=2GBの空き容量が必要です。

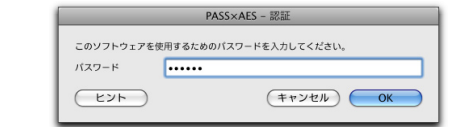
セキュリティフォルダおよびPASS×AES画面を表示する

セキュリティフォルダを表示してデータを読み書きする場合や、PASS×AES画面を表示してPASS×AESの設定を変更する場合は、次の手順でPASS×AESを起動します。

1 USBフラッシュメモリ内の「PASS×AES」をダブルクリックします。初期設定画面が表示されます。

パスワードレスとして登録しているパソコンに本製品を接続している場合は、パスワードを設定していても認証画面は表示されず、PASS×AESが起動します。「パスワードを入力せずにPASS×AESを起動する」を参照してください。

2 「パスワード」を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



[ヒント]ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

セキュリティフォルダ内の暗号化されたデータを復号化します。USBフラッシュメモリ内にセキュリティフォルダが表示されます。



また、PASS×AES画面が表示されます。

1 PASS×AESを起動したときに、PASS×AES画面が表示されないように設定することもできます。「PASS×AES起動時にPASS×AES画面を表示しない」を参照してください。

2 USBフラッシュメモリを取り外すときは、セキュリティフォルダを隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。



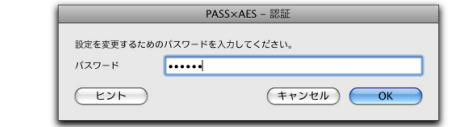
PASS×AESの設定を変更する

PASS×AESの設定を変更するときは、次の手順で設定画面を表示し、各設定を変更します。

1 PASS×AES画面の[設定]ボタンをクリックします。認証画面が表示されます。

2 PASS×AES画面が表示されていない場合は、「セキュリティフォルダおよびPASS画面を表示する」を参照してください。

3 「パスワード」を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



[ヒント]ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

設定画面が表示されます。各設定の詳細は、以降を参照してください。

PASS×AES起動時にPASS×AES画面を表示しない

PASS×AESを起動したときに、PASS×AES画面を表示しないように設定できます。

1 設定画面を表示し、[全般]タブで「起動時にウィンドウを表示しない」にチェックを入れます。



2 設定画面の[OK]ボタンをクリックします。

パスワードを変更する

現在設定しているパスワードとヒントを変更できます。

1 設定画面を表示し、「パスワード」タブをクリックします。

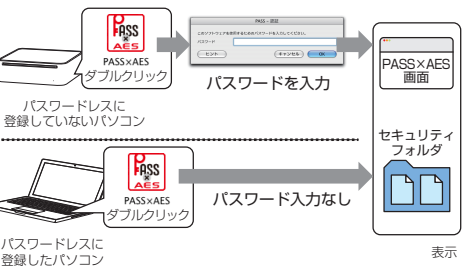


2 各項目を入力します。詳細は、「セキュリティフォルダを作成する」の手順3を参照してください。

3 設定画面の[OK]ボタンをクリックします。

パスワードを入力せずにPASS×AESを起動する

いつもご使用になっているご自分のパソコンなどをパスワードレスパソコンとしてあらかじめ登録しておく、パスワードを入力しなくてもPASS×AESを起動できます。他のパソコンではデータを盗み見されないように保護し、ご自分のパソコンではすぐに読み書きしますので、頻繁にデータをやり取りする場合などに便利です。



登録したパソコンにお使いのUSBフラッシュメモリを接続した場合にのみ、「PASS×AES」をダブルクリックするだけで、すぐにPASS×AES画面とセキュリティフォルダが表示されます。

■本製品にパスワードレスパソコンを登録する

MacintoshとWindowsパソコンを合わせて3台まで登録できます。

1 登録するパソコンにお使いのUSBフラッシュメモリを接続します。

2 お使いのUSBフラッシュメモリを接続したパソコンのみ登録することができます。必ず登録するパソコンにPASS×AESをコピーしたUSBフラッシュメモリを接続し、以降の操作を行ってください。

動作環境とユーザーサポート

動作環境

USB2.0/1.1 インターフェースを装備し、Windows® 2000 (SP4) /XP(～SP3)、Windows Vista®(～SP2)、Windows® 7が動作するWindows®パソコン
MacOS X 10.4、10.5、10.6を搭載したMacintoshパソコン

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】

www.elecom.co.jp/support

こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAX によるお問い合わせ(ナビダイヤル)】

エレコム総合インフォメーションセンター

TEL：0570-084-465

FAX：0570-050-012

【受付時間】

9:00～19:00

年中無休

©2009 ELECOM Co., Ltd. All Rights Reserved.